



二十一世紀女子教育をリードする 女子大学を目指して

学長 湊 晶子

二〇一〇年一月号の大学時報に「大学トップのリーダーシップ」という題で国立・私立学長の座談会が掲載され、出席者が異口同音に「学長にしかできない広報とは『将来を語り、夢を語る』ことであると述べておられたことは大変興味深いと思います。私自身も二期八年、東京女子大学学長として夢を語り、そのいくつかを実現してまいりました。

八十歳を過ぎて、もう一度学長職に就くとは予想致しませんでした。防空壕から掘り出され九死に一生を得た「いのち」、現代社会に求められている「平和とキリスト教女子教育」のために捧げるべく導かれ、お引き受け致しました。ビジョンとミッションをもって与えられたミッションを果たしたいと願っています。

共学化が進んでいる現状ではありますが、日本の教育史における女子教育機関の役割を分析する時、女子大学の果たすべき使命は現代において、まだ大きいのです。日本において女性が男性と同等に教育を受けることができなかつた時代に、「女性も神の前に同等な人格である」との理念に立って、多くのミッションスクールが宣教師たちによって設立されました。広島女学院と東京女子大学は宣教師及び宣教師団体の支援を受けつつも「女子教育の必要性に目覚めた日本人男性教育者」によって創立され、女性教育者にバトンタッチされたところに大きな特色があります。

広島女学院はランバス宣教師父子の協力を得て砂本貞吉によって創設され、初代女性校長ゲインズそうして広瀬ハマ子に、東京女子大学はアメリカの超教派宣教師団体の協力を得て新渡戸稲造によって創立され、二代目女性学長安井てつにバトンタッチされ今日があります。

両男性創立者と女性後継者に共通しているのは、「絶対者との縦関係に位置付けられたぶれない人格形成の必要性」と「男性と女性の平等性」の主張です。それらの理念は、「人はどこか動じないところ、譲れぬという断固とした信念がなければならぬ。人格神との関係性、対話性の中に人格は形成される」「男女を織物に例えれば男子は経糸、女子は緯糸である。経糸が弱くても、緯糸が弱くても織物は完全とは言われませぬ」という新渡戸稲造の言葉に集約されています。このような理念に立脚した教育がリベラル・アーツ教育・人格教育であり、グローバル時代を迎えた現代日本に最も求められている教育です。先ず人格形成が、その上にグローバルに通用する英語力が接ぎ木されて初めて真の国際人となり得るでしょう。微力ではありますが、半世紀以上の女性・妻・母・教師・国際理事としての経験から「広島女学院のキリスト教に基づくリベラル・アーツ教育（人格教育）」の発展に取り組ませていただければ幸いです。



2014年度運営体制

(新任者は○印)

人間生活学部

理事長・院長 黒瀬真一郎
歴史資料館長 佐藤 茂樹
理事長補佐 畠山 重信
法人事務局長兼大学事務局
長兼総務課長

生活デザイン・建築学科
主任 石長孝二郎
管理栄養学科主任
石長孝二郎

食品衛生管理者・食品衛生
監視員養成課程担当主任
石長孝二郎
社会教育主事課程担当主任
木本 浩一
司書課程・学校図書館司
書教諭課程担当主任
○佐藤 茂樹
実務教育課程担当主任
篠原 収

大学・大学院

学長 ○湊 晶子
国際教養学部部長
○波多野五三
人間生活学部長
桐木 建始
文学部長 金田 文雄
言語文化研究科長
○渡邊ゆかり
人間生活学研究科長
末永 航
チャブレン 澤村 雅史
宗教主任 澤村 雅史
前田美和子
共通教育センター長
松浦 正博
図書館長 佐藤 茂樹
総合研究所長○佐藤 茂樹
障がい学生高等教育支援
室長 ○松浦 正博
障がい学生高等教育支援
副室長 ○山下 京子

文学部

日本語日本文学科主任
渡邊ゆかり
英米言語文化学科主任
○河内 清志
幼児教育心理学科主任
三樹 正典
生活科学部
生活デザイン・情報学科
主任 橋本 一夫
管理栄養学科主任
石長孝二郎
保育士課程担当主任
中村 勝美
初等教職課程担当主任
戸田 浩暢
中等教職課程担当主任
松浦 正博
学芸員課程担当主任
末永 航
日本語教員養成課程担当
主任 ○渡邊ゆかり
管理栄養士養成課程担当
主任 下岡 里英
建築士課程担当主任
○細田みぎわ

中学校・高等学校

中学高等学校校長
星野 晴夫
中学校教頭 森永 裕子
高等学校教頭○渡辺 信一
教務部主任○高梨 弘
進路部主任○中村 紀子
生活指導部主任
中山 美香
広報部主任○永松麻奈美
GEC部主任○森永 裕子
学年主任
中1 ○渡部 新
中2 ○中平 隆夫
中3 ○中野ひかり
高1 ○永松 正彰
高2 ○山縣 泉
高3 ○高見 知伸
人権教育委員○綿田 勝
企画委員 中野ひかり
生徒会顧問(中学校)
○國岡健太郎
生徒会顧問(高等学校)
中原 克芳
生徒会顧問(高等学校)
○長谷川 史
ゲインズ幼稚園
幼稚園長 高田 憲治
幼稚園主事 古重 歌織

新任者紹介



4月1日、新たに9名の教職員の方々をお迎えしました。簡単ですが、みなさまのご紹介をさせていただきます。(順不同、敬称略)

新任者紹介

①お名前 ふりがな
②所属・配属先
③職名(担当授業)
④就任にあたっての抱負

①石村 和敬
②人間生活学部・管理栄養学
科

③特任教授(解剖生理学
I・II、解剖生理学実験
I・II)
④管理栄養士養成のための
教育の一端を担うことで、
人々の健康の増進と病氣
の予防に貢献したいと考
えています。

①宮永 愛子
②国際教養学部国際教養学科
③専任講師(日本語教授
法、社会言語学、基礎日
本語他)
④日本語を様々な角度から
見ることで、コミュニケーション
の面白さについて学生
と共に考えていけたらと
思っています。よろしくお
願いいたします。

①野村 知未
②人間生活学部管理栄養学科
③専任講師(調理科学・実
習 他)
④学生の皆様が、授業で知
識を身に着けるだけでな
く、人としても成長できる
よう寄り添えていけたら
と思っています。

①増原 康人
②中学・高等学校
③常勤講師(数学)
④夢と希望あふれる生徒の皆
さんとともに成長しなが
ら、歴史と伝統ある広島女
学院のさらなる発展に貢献
していきたいと思ひます。よ
ろしくお願ひします。

①加川 貴美子
②中学・高等学校
③常勤講師(養護)
④皆さんの心と体の健やか
な成長を支えながら、自
分自身も成長していきたい
と思ひます。よろしくお
願ひいたします。

①立畠 優紀
②大学事務局就職課
③事務職員(常勤嘱託)
④学生の就職をサポートで
きる様日々成長していき
たいと考えております。一
生懸命職務に全うしてい
きますのでよろしくお願
ひいたします。

①吉岡 千紘
②ゲインズ幼稚園
③幼稚園教諭
④子ども一人ひとりの心に寄り
添い、子どもと共に学び日々
成長していきたいと思ひま
す。宜しくお願ひ致します。

①嶋家 静
②大学事務局就職課
③事務職員(特例特任)
④学生に寄り添い行く手
をしっかり照らしながら就
職活動支援に力を尽くし
てまいります。

①大北 和幸
②法人・大学事務局
③事務局長
④新たな仕事を新たな気持
ちで行う喜びを忘れず、
皆様とともに素晴らしい
学校づくり人材育成に取
り組んで参りたいと思つて
います。よくわからないこ
とも多く、ご迷惑をおか
けしますが、よろしくお願
ひします。

退職者のことば

学長 長尾ひろみ

2010年4月、母校である広島女学院大学の学長として就任したことが昨日のように思えます。18歳人口激減の兆しの中で、将来の女学院大学の存続をかけた全学改組が、私のミッシヨンでありました。改組して3年目を迎えますが、防波堤が完成するよりも早く、その波は来ています。5年後、10年後までに早く600ある私立大学の300校は姿を消すと予測されています。今この時代を生き抜くためには、建学の精神を守りつつ、さらに教育の質をあげ、選ばれる大学になるしか方法はありません。

大学准教授 佐藤邦子

広島女学院大学で私は折ることと感謝することを学びました。力不足でできなかったことを挙げればきりありませんが、ここで得たたくさんのものを糧に、折り返し、感謝しながら前に進みたいと思います。みなさま、本当にありがとうございます。

大学准教授 大場美和子

二〇〇七年より日本語日本文学科でお世話になりました。それまでは留学生の教育に携わり、日本人学生の教育ははじめてだったので、留学生と一緒に活動する日本人側の教育の経験は視野を広げることとなりました。今後の研究・教育活動につなげていきたいと考えております。

大学特任教授 米倉 紳

広島の地にある大学でお世話になれるとは思いませんでした。九年の間に出会った学生諸君は優秀で性格のよい人たちがばかりでした。また、多くの教職員の皆様に助けていただいた九年間でした。皆様のご多幸と広島女学院大のさらなるご発展をお祈りいたしております。ありがとうございます。

大学特任教授 林 桂子

9年前、大学院に英語教育学が設けられて、その担当

当教員として着任いたしました。小中高大の英語教員志望者募集のために学生達の協力を得て、何度もワークショップを開催し、幸い多くの学生達を迎え入れることができました。博士号を取得した学生達は見事に国立大学や他大学で教鞭をとり、活躍してくれていることを誇りに思います。9年間で難うございました。

大学特任教授 伊藤紫子

病院栄養士定年後に思いもかけず母校で教員を8年間も心から感謝しています。学生や教職員の方々との素晴らしい出会いの中で「管理栄養士国家試験の合格率アップ」「給食実習室や調理室改築設計」の夢を先生方と一致協力して実現させた、感動と学びの日々は、私の「生涯の宝物」。有難うございました。

大学特任教授 田井郁久雄

司書課程・司書教諭課程の特任准教授として、9年間お世話になりました。正規の司書の仕事を得ることが非常に困難なまま、学生の皆さんには、就職のための資格取得だけを目的とするのではなく、一生の暮らしの中で図書館を生かすことの大切さを学んでほしいと思ってきました。広島女学院大学の一層のご発展を祈っています。ありがとうございます。

大学特例特任教授 瀬山一正

12年前の春に喧騒の医学部キャンパスから静寂と桜の花に松の新芽の香気を含んだ空気で満たされた牛田

キャンパスに移ってまいりました。医学部時代の精神的・身体的疲労から解放され、牛田山の美しい環境に癒され、また、先生方のご支援で今日まで命を承らえ職責を終えることが出来た事を感謝申し上げます。医学部時代の研究条件・研究課題が女学院大学での担当分野と余りに違っていたので、研究分野も新しく立ち上げねばなりませんでした。幸い食と身体機能の相関という違う学問分野に触れ、大いに刺激を受けました。学生との卒論研究は殊の外楽しいものでした。この活動を通じて、食の管理が、痛風・高尿酸血症を防ぐ簡便に出来る予防法であることを明らかにできました。これを発展させれば、食の管理と運動習慣で生活習慣病全般の予防が可能であることも予見できるようになりました。研究には終わりはありません。これ等生かされ新たな食による健康促進方法がこれから発信されることを切に望んでいます。このような機会を与えて頂き、激励くださいました教職員の皆様と研究に真摯に取り組んでくれた学生諸君に感謝申し上げます。広島女学院大学の一層のご発展を祈って止みません。

大学事務局庶務課 石川大八

いつの間にか、定年を迎えていた。生来ほんやりしているの、上司、ご同輩、部下となられた方々には、色々とご迷惑をおかけしたことを存じます。

退職後の予定もないので、ただ、ほんやり暮らしながら、女学院のことを想っております。

小田 長

院長・理事長から相談されては7年、ボランティアセンターを広島市内の大学に先駆けてスタートする事ができました。今後も学生のために外から支援したいと思えます。ご支援・ご協力ありがとうございます。

常勤嘱託職員 森田麻友

学生、職員として6年間お世話になりました。職員としては2年間、様々な経験をさせていただきました。至らぬ私に多くの学びと成長できる場を与えてくださった教職員、学生の皆様には深く感謝しております。

広島女学院で学び、経験したことを糧に一層精進してまいります。

今後益々の広島女学院のご発展をお祈り申し上げます。

中高教諭 松重正清

三十五年も勤めるとさすがにさまざま言葉が頭に浮かんで来ますが、百二十字以内で述べよということになると、井伏鱒二が「厄除け詩集」で于武陵の「勸酒」を見事に訳した次の言葉しかありません。「ハナニアラシノタトヘモアルゾ」「サヨナラ」タケガ人生ダ

中高教諭 迫 史織
学生として6年間、また教員として4年間お世話になりました。学生の時と変わらず、皆様にあたたく見守っていただき、有難うございました。教師としてのやりがいを感じながら働けたことを幸せに思います。これからも一人前の教師を目指して、初心を忘れずに歩んでいきます。卒業生の一人として、広島女学院のご発展をお祈り申し上げます。

幼稚園教諭 市川真由

自分が通園していた大好きだった場所に、保育者として帰らせていただき本当に感謝しております。恵まれた環境の中で子どもたちと過ごす毎日は、本当に幸せでした。今度は、保護者という立場でこのゲインス幼稚園に帰ってきたいと願っております。

最後に、皆様の益々のご発展をお祈り申し上げます。

その他の退職者

2013年度は記載の方々の他次の方が退職されました。

大学助手 Olivia Rose

大学助手 Anna May

特別専任研究員 山内 香澄

大学客員教授 Seven Leape

常勤嘱託職員 田中 圭子

常勤嘱託職員 堀田 裕太

中高常勤講師 小林 愛梨

中高常勤嘱託職員 久保岡留美

中高教諭 片木 学

大 学

大学卒業礼拝・ゲインズ墓前礼拝

卒業式を翌日に控えた3月14日(金)、大学卒業礼拝(10:00~10:40 文学部、11:00~11:40 生活科学部)がゲインズチャペルにて開催された。

玉理照子オルガニストによる前奏「主よ人の望みの喜びを」(J・S・バッハ)のあと讚美歌90番を合唱し澤村雅史チャプレンによる聖書朗読、祈禱が行われた。説教は、日本キリスト教団広島牛田教会牧師の西嶋佳弘先生が聖書ヨハネの手紙一4章7~12節と漫画

家、絵本作家、詩人である故やなせたかしさんの残された愛と勇気の言葉を引用され、「愛され愛し合う者として」という題目でお話された。

終わりにゲインズ先生の愛唱歌である294番を合唱した。

また、同日15:50から比治山墓地にてゲインズ墓前礼拝に各学科卒業生の代表と教職員約20名が参列した。讚美歌第二編60番合唱の後、チャプレンによる聖書朗読「コリントの信徒への手紙一3章6~9節」、祈禱があり、続いて長尾ひろみ学長からゲインズ先生の思いが語られた。最後に、ゲインズ先生の愛唱歌である賛美歌294番を合

唱し、花束を墓前に捧げて終了した。(宗教センター 中嶋 知子)



学習カウンセリング 小学生の学習支援活動

幼児教育心理学科では、算数の勉強で困っている小学生を対象とした学習カウ



学習場面

ンセリングを開いています。小学校教諭をめざす学生たちが、個別指導をしながら学習上の「つまづき」を心理学の視点から分析し、自立して学んでいけるよう支援します。秋学期には11名の小学生が大学にやってくる、元気に勉強とレクに取り組みました。小学生は算数が少し好きになり、学生たちは小学生とじっくり触れ合うことができ

ました。

(幼児教育心理学科 桐木 建始)



検討会

海外フィールドワーク 管理栄養学科

管理栄養学科では、2014年2月25日、3月4日にハワイで初めての海外フィールドワークを実施しました。1年生6名が参加し、ハワイの健康問題や食生活、食文化などについて学びました。



ホノルルでは、本学院の創立者である砂本貞吉先生が創られたハリス合同メソジスト教会を訪問し、主任牧師であり本学卒業生の三宅ストーリー展子先生から教会と女学院の歴史について伺うことができました。また、教会では高齢者の皆様にお好み焼きや散らし寿司などの食事提供と栄養のお

話や作り方などの紹介を英語で行いました。皆様に変喜んでいただき、おもてなしの大切さを学びました。ハワイ島では、病院や高齢者支援施設で登録栄養士の業務や栄養管理の方法などを教えていただきました。

た。現地の方との心温まる交流や専門家との英語によるディスカッションを通じて学生達は人間的に大きく成長しました。今後さらに知識や技術を磨いて、幅広い視野を持った管理栄養士に育ってくださることを期待しています。(管理栄養学科 市川 知美)

CG・ARTS協会賞 受賞報告

本学はCG・ARTS協会(Computer Graphic Arts Society)の教育カリキュラムをもとに教育を行う機関として認定教育校となっています。

生活デザイン・情報学科情報マネジメント分野四年生の立島優紀さんは、マルチメディア検定とCGエンジニア検定に合格しCG・



西口 理恵子

ARTS協会より協会賞が授与されました。卒業後は、身に着けた知識や技術を生かして活躍していただけることを期待しています。(国際教養学科)

建築士課程報告

2013年度の広島8大学卒業設計展が3月14日から4日間、広島工業大学で開催された。本学建築士課程は2009年より4年連続で優秀賞・市民賞・日本建築家協会賞等を受賞してきたが、本年度は6名が参加し力作を出展した。審査会では東京・京都の建築家3人による投票が行われ、得票した作品もあったが受賞には至らなかった。参加校は広島8大学と招待校6校で総作品数は72であった。なお、「日本インテリア学会中国・四国支部長賞」には、桑本麻央さんの作品を推薦し、「巡り深めるための場所」が受賞した。(建築士課程主任 本村 佳久)



本村 佳久

中学・高校

卒業のことば

卒業生代表 佐田 晴菜



広島女学院に入学してから今日までの6年間、私は素晴らしい人々との出会いとたくさん経験に恵まれ、とても充実した生活を送ることができました。体育大会や文化祭、中学での讃美歌コンクールや高校での球技大会など、様々な行事は輝かしい思い出です。中3の長崎への研修旅行や高2の沖繩への修学旅行では、日ごろの平和学習で得た知識や考えをさらに深めることができ、特に日本がアジア諸国の人々に対して残虐な行為をしてきたという日本の加害の面について学び、新たな視点から「戦争」と「平和」について考えるきっかけとなりました。原爆が落とされた広島に暮らす人間として、これからは女学院で学んだことを自分の言葉にし、多くの

人に伝えていきたいです。私たちはこれから社会に出て、様々なルーツを持つ人や自分たちとは異なった価値観を持つ人に出会うでしょう。一つの視点ではなく、複眼的な視点で考えることのできる人間になりたい。女学院での学習とおして私はそう感じました。毎朝の礼拝ではたくさん聖句とお話を聞き、先生方や同級生のお話を聞くことができ、悩みを解決するヒントをもらったり、当り前と想っていた日常生活に感謝できるようになりました。

さてそんな私が女学院の生活の中で最も忘れることができないのが、中高6年間続けてきた吹奏楽部での活動です。本当に忙しい部活でした。毎日へとへとになって帰宅していました。高校生になり、自分のパートだけではなく全体をまとめる役割を担うようになって、部活に対する取り組み方が大きく変わりました。学年が上がるにつれて自分から積極的に練習をリードしていくようになりました。そのときは本当に辛かったし、一体何をどうすれば良いのかも分からず、泣きたい気持ちでいっぱいでした。そんな気持ちでいるとき、いつも感情的な私をフォローしてくれるのは同級生であり、言葉にしかなくても私の考えを分かってくれるのは先生であ

り、厳しい指導でもめげずに一生懸命練習してくれるのは先輩でした。結局、私が一人で成し遂げたことなど一つもなく、いつもたくさん仲間のおかげでいたから、部活に打ち込み音楽を楽しむことができたのだと感じています。そしてこの冬、私にとって最後の大会となるアンサンブルコンテストに出場しました。この大会は3人以上8人以下のアンサンブルを対象としたコンテストで、最初は出場するつもりはありませんでしたが、同じフルートパートの後輩2人が出場するための人数が足りず困っていると聞き、私が入って3人で出場することを決めました。曲に合わせた音作りを徹底し、同じフレーズやハーモニーを何度も合わせて、その曲の持っている情感が表現できるように3人で約1カ月半の間、必死に練習しました。

本番では、音楽そのものに入り込むことができ、音楽の醍醐味を味わえたと思います。その結果、6年間で初めての金賞を受賞することができました。一緒に演奏した後輩と、応援してくれた他の部員への感謝でいっぱいでした。本当に最後まで諦めなくてよかったですと思いました。音楽をとおして自分を表現しようとすることで自分

と向き合い、今の私に足りないのは何だろうと考えるようになり、音楽だけではなく、部活で何をすべきなのかを考え、すばやく行動に移せるようにもなりました。6年間の中では、スランプに陥ることもあり、これから先自分は音楽家として本当にやっていけるのかと不安になる時期もありました。そんなとき、ある聖句が私を勇気づけてくれました。それは、コリントの信徒への手紙一14章7節の「笛であれ堅琴であれ、命のない楽器も、もしその音に変化がなければ、何を吹き、何を弾いているのか、どうして分かるでしょう。」というものです。「楽器に命を与えているのは、息を吹き込んでいる自分なんだ。自分にしかできない音楽が絶対にある。だからもっと自分が音楽に対して貪欲に、積極的になろう。」と前向きな気持ちになれたのを覚えています。

ただ練習するのではなく、目標を持ち、自分に負けたくないという気持ちを持ち続けて努力する大切さを、私はこの部活で学びました。女学院で出会った友達、素敵な人ばかりでした。ひとりひとりが色々なことに取り組んで、みんなの頑張っている姿を見せられて、パワーがもらえまし

た。いつも生徒ひとりひとりのことをちゃんと見ていてくださる素敵な先生方と出会えたこの学校が、私は大好きです。私たちは、多くの方々のおかげで卒業の日を迎えることができました。女学院で学んだこと、感じたことを一生の宝物にして生きていきたいと思っています。私たちは周りの人々への感謝を忘れることなく、これからの人生を歩んでいきます。

第49回生の笹岡啓子さんが、第23回林忠彦賞を受賞されました。これは周南市出身の写真家、林忠彦氏にちなんだ賞で、笹岡さんは東日本大震災の被災地域を撮影した写真冊子「Remembrance」で受賞されました。5月16日から周南市美術館博物館で受賞記念写真展が開かれます。

卒業生笹岡啓子さん 林忠彦賞受賞

文化部 春の公演のお知らせ

- *会場は中高ゲインズホール
- 高校音楽部
 - 3月30日(日)
 - 「5つの教会モテトウス」
 - 「紅花抄」ほか(終了)
- ダンス・ミュージカル部
 - 4月11日(金) (終了)
- 中学演劇部
 - 4月19日(土) 13時
 - 「勿忘草」作 日吉月花
- 高校演劇部
 - 4月26日(土) 13時
 - 「グローブジャングル」
- 作 鴻上尚史
- 中高マンドリン部
 - 4月27日(日) 13時半
 - マンドリンオーケストラのための組曲 ほか
- 中高吹奏楽部
 - 4月29日(火・祝) 14時
 - 喜歌劇「微笑みの國」セレクション、グレンミラー・メドレー

中高、文科省 SGH認定校に!

文科省はこの度1月に教育のグローバル化推進の為、SGH(スーパーグローバルハイスクール)事業について公募をおこなった。本校は推し進めてきたグローバル教育向上の為に応募、全国246校中56校

幼稚園

ラブ&ピースコンサート

子どもたちのとびきりの笑顔と歌声が、今年も砂本記念講堂で広がり、会場内を幸せて包み込みました。みんなの心と歌声が一つとなり、平和のメッセージを発信するコンサートです。子どもたちは堂々と舞台上に立ち、少しは緊張があるものの誇らしげに歌う表情、姿そのままの存在が平和そのものです。ここまで成長させてくださった神様に感謝するとともに、これからも平和を作り出していく子どもたちに育ってほしい。

(幼稚園 木村 和美)



みんなに届け、子どもたちの歌声



お椀の柄も一つひとつ違って素敵!



小客さんのお話を聞いています

お茶会

年中組では、1月に山田さんのお家にお邪魔し、お茶会に出席させて頂きました。初めて体験・体感する雰囲気、肩の力が入っている様子。小客さんに倣いお辞儀をして、顔がすっぱり隠れてしまう程大きなお椀で頂いたお茶はちよっぴり大人の味でしたが、みんなの間に「飲み干してしまいました」「けっこうなお手前だ」という言葉が気に入ったのか、子どもたちは幼稚園に帰ってからその言葉をお茶を飲むたびに使っていました。(幼稚園 桑原 ユミ)



お部屋でお茶会ごっこ



お楽しみ会

学期に一度、幼稚園ホールで開かれるお楽しみ会。コーラス部のお母様方の美しいコーラスに合わせて、子どもたちは、一緒に歌を口ずさんだり、思わず手拍子を取って体ごとで音楽を楽しみステージと会場が一体となる時となりました。また、人形劇部



のお母様方は、絵本のお話から、手作りの人形と舞台上で人形劇を披露して下さいました。人形劇部さんの迫真の演技にすっかり引き込まれてたっぷりとお話を楽しむことができました。子どもたちが待ちに待った『お楽しみ会』の為に、心を尽くして準備して下さる指導者の方、お母さま方に感謝です。(幼稚園 古重 歌織)

第52回 卒園礼拝

3月18日、神さまの守りの中で大きく成長した年長児70名が園を巣立ち、喜び溢れる日となりました。子ども達のそれぞれの歩みが神さまと共にありますように。



事務局

会議報告

2013年度第1回臨時評議員会

2014年1月18日(土) 14時より中学チャペルにおいて開催。10月評議員会...

第125回理事会

2014年1月24日(金) 14時より頌栄館会議室において開催。第17回常任理事...

事業計画案、2014年度予算案、評議員会の活性化...

3月定期評議員会 2014年3月26日(水) 10時よりヒノハラホール...

歴史資料館だより(25)

2013年3月から2014年2月まで一年間の来館者数は統計表に示す通り...

悲しいお知らせがある。岩内一郎名誉教授・石本俊憲法人事務局・事務主管...

として理事会に答申することとした。

第126回理事会

2014年3月26日(水) 14時より頌栄館会議室において開催。2013年度第...

審議事項として、評議員会から諮問された2013年度補正予算案...

歴史資料館来館者統計表(2013.3.1~2014.2.28)

Table with columns: 月, 学生生徒, 教職員, 卒業生, 一般, 計. Rows show monthly data from 3-4 to 1-2 and a total row.

則、中学校、高等学校の学則変更、幼稚園園則の変更...

報告事項として次期監事名及び施行細則の変更案を承認した。

IAMSCU国際大会のスケジュール

5月24日(土) 9:00~16:00 プレ分科会 於: 広島女学院大学ヒノハラホール...

13:00~13:45 大学「キリスト教の時間」参加 於: 砂本記念講堂...

表彰

永年勤続者

30年勤続者
吉田絵理子様

20年勤続者
波多野五三様

永松 正彰様

中山 美香様

甘川加緒理様

高田 憲治様

藤岡千津子様

山口 明美様

榎 良平様

大矢 會子様

(大矢みどり評議員(ご母堂))

黒瀬 禎子様

(理事長のご令室)

菅野 義信様

(元大学特任教授)

岡田ヨシエ様

(岡田幸枝 大学共通教育センター情報教育課長(母堂))

松原 勉様

(大学名誉教授)

内田 雅子様

2013・12・30

2013・12・30

2013・12・10

2013・12・7

2013・12・6

(渡部佳美 大学管理栄養学科准教授(ご義母))

誕生

紗季ちゃん

(宮田裕子 大学共通教育センター 教学課事務職員(長女))

文香ちゃん

(島田克央 中高教諭(ご長女))

伊音ちゃん

(小坂好将 中高事務部・千穂大学事務局長 庶務課事務職員(次女))

3月31日受付分まで

130周年記念のために

石本 俊憲様

300,000円

研修会の会場使用の御礼として

公益社団法人 広島県栄養士会様

30,000円

クリスマス献金

日本基督教団 山田信愛教会様

10,000円

2013年広島女学院文学部

日本語日本文学科謝恩会様

10,045円

畑野 喜信様

甘川加緒里様

福岡 美香様

森永 裕子様

里田 幸子様

渡辺 信一様

岡崎 博美様

工藤 敬子様

小坂 好将様

常本 奨悟様

中平 隆夫様

川鍋 元広様

重松 深雪様

長机借用お礼

広島キリスト集会様

10,000円

広島女学院発展の為に

茂里 一紘様

50,000円

グーンズホール借用謝礼

小郡中学校吹奏楽部様

卒業感謝

文学部日語日本文学科

2013年度 卒業生一同様

60,000円

奨学、設備、美化等支援

広島女学院維持会様

6,300,000円

大学のボランティア活動に対して

国際ソロプチミストウエス

トひろしま様

50,000円

一般

澤村 雅史様

25,000円

今石 牧子様

10,000円

広島女学院ゲーンズ幼稚園

母の会様

370,023円

児玉 君江様

10,000円

日誌抄

事務協議会

1・9(木)

常任理事会

1・14(火)

公認会計士監査

1・16(木)

学院運営協議会

1・24(金)

理事會

2・13(木)

事務協議会

2・19(水)

公認会計士監査

2・20(木)

学院運営協議会

2・28(金)

常任理事会

3・1(土)

高等学校卒業礼

3・6(木)

学院運営協議会

3・10(月)

公認会計士監査

3・13(木)

事務協議会

3・14(金)

大学卒業礼

3・15(土)

大学院学位記授

与式

3・18(火)

幼稚園卒園式

3・20(木)

中学校卒業礼

3・26(水)

臨時常任理事会

定期評議員会

理事會

3・26(水)

定期評議員会

理事會

寄附

3月31日受付分まで

130周年記念のために

石本 俊憲様

300,000円

研修会の会場使用の御礼として

公益社団法人 広島県栄養士会様

30,000円

クリスマス献金

日本基督教団 山田信愛教会様

10,000円

2013年広島女学院文学部

日本語日本文学科謝恩会様

10,045円

結婚式感謝

戎谷 浩志様

54,000円

管理栄養学科への寄附

広島女学院大学管理栄養学科謝恩会様

56,569円

生活デザイン情報学科への寄附

2013年度広島女学院生活デザイン情報学科 卒業生一同様

50,000円

幼児教育心理学科への寄附

広島女学院幼児教育心理学科謝恩委員会様

50,014円

卒業感謝

文学部日語日本文学科

2013年度 卒業生一同様

60,000円

奨学、設備、美化等支援

広島女学院維持会様

6,300,000円

大学のボランティア活動に対して

国際ソロプチミストウエス トひろしま様

一般

澤村 雅史様

25,000円

今石 牧子様

10,000円

広島女学院ゲーンズ幼稚園

母の会様

370,023円

児玉 君江様

10,000円

今石 牧子様

10,000円

現物寄附

小西 類理様

3・18(火)

福田 道宏様

3・20(木)

コンピュータ Sony VAIO

3・26(水)

山下 京子様

3・26(水)

定期評議員会

理事會

3・26(水)

定期評議員会

理事會

3・26(水)

定期評議員会

理事會

3・26(水)

定期評議員会

理事會

3・26(水)

定期評議員会

理事會

3・26(水)

定期評議員会

理事會

3・26(水)

定期評議員会

理事會

3・26(水)

編集後記

今年には寒さが長く続き、春は本当にくるのかと思っ
ていると、3月末になって
一斉に桜の蕾が緩み、あっ
という間に満開となった。
勝手なもので、今度は寒さ
が少し戻り、入学式まで花
がもって欲しいと思う。儘
ならないのが世の常だが、
すべてを神さまに委ねて新
年度をスタート。
(法人事務局長)